

連続講座「連帯社会」

主催：公益財団法人 日本労働文化財団
連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込
先着 30 名

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団が法政大学と連携して設立する修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」(通称：連合大学院、2015年4月開講)を支援し、連携するための機関として本年4月に発足し、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、2015年4月の連合大学院開講に向けて、「連帯社会」に関わる研究者の方々に、最近ご発表のご著書の内容を中心に問題提起をいただき連続講座を企画いたしました。第1回は、神野直彦東京大学名誉教授をお招きして、現在日本が直面している危機の本質と、新しい経済社会システム構築に向けての改革課題についてご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

参加ご希望の方は、裏面の申込用紙に必要事項記載の上、10月10日(金)までに、FAXにてお申込みください。会場整理の都合により申込の受付は先着30名様までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、ご講演をお聞きになられる場合には、テーマに関わるご著書『失われた30年—逆転への最後の提言(NHK出版新書)』を事前にお読みになっていただくことをお勧めします。

第1回：失われた30年：逆転への最後の提言

日時 2014年10月18日(土) 15:00~17:00 (14:30開場)

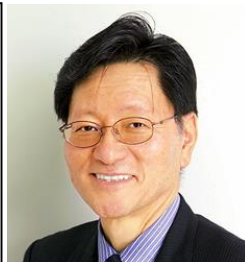
場所 連合会館 4階 405会議室

講師：神野 直彦氏

東京大学名誉教授・地方財政審議会会長

神野直彦(じんのなおひこ)氏のプロフィール

1946年生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。専攻は財政学。東京大学教授、関西学院大学教授などを経て、東京大学名誉教授、地方財政審議会会長。最近の著書：『失われた30年—逆転への最後の提言(NHK出版新書)』(金子勝との共著)、2012年NHK出版；『「分かち合い」の経済学(岩波新書)』、2010年、岩波書店；『地域再生の経済学—豊かさを問い直す(中公新書)』2002年、中央公論新社など多数。



プログラム

来聴歓迎

- 15:00 ~ 15:05 開会挨拶
- 15:05 ~ 16:20 講演
- 16:20 ~ 16:55 質疑応答
- 16:55 ~ 17:00 閉会挨拶

~お問い合わせ~
連帯社会研究交流センター (ReCSS)
e-mail: info@recss.jp
※参加申込用紙は裏面

